

# ☆保護者の皆様へ ～全国学力・学習状況調査結果～

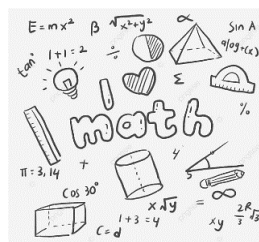
4月18日（木）に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が7月末に出了た。夏休みには国語科、数学科、そして3年生の先生方で分析をし、山手中学校78回生の傾向としてまとめましたので報告させていただきます。

## ○国語

「知識・技能」については全国平均と同程度の正答率であった。「情報の扱い方に関する事項」においては全国平均を上回っており、情報と情報を結びつけて考える力についてはと考える。一方で「思考・判断・表現」においては正答率が低い結果となった。特に「書くこと」の記述問題では、無回答率が高いことから苦手意識をもっていることがうかがえる。文章を正確に読み、自分の考えを文章で表現する力を伸ばしていくことが今後の課題である。

## ○数学

基本的な問題を含め、全体的に全国平均、兵庫県平均を下回っている。ただ、数と式に関しては他の領域に比べると正答率は高くなっている。また、選択式の問題の正答率が低いのは、普段あまりその類の問題に触れていないことが要因と考えられる。様々なタイプの問題を解いていく必要性があると考えられる。



## ○生徒質問

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の回答が多かったことから、学校生活、家庭生活においては、前向きに満足している生徒が多い。
- ・授業や家庭学習においてタブレット（クロームブック）、ICT機器を使用している頻度が少ない。
- ・家庭学習において、「平日30分未満」「休日1時間未満」しか学習していない生徒の割合が、全国平均、兵庫県平均と比べるとかなり多い。
- ・各教科において、話し合い活動を含め、自ら考え、それを言葉で表現する力が必要。



3年生 学年通信第8号(R6. 9. 4発行)」より